



星 泰

2022年5月発行

東京都渋谷区富ヶ谷2-10-7 TEL.03-3467-8111 発行人:金谷 義孝



生徒会の歌

2021年3月望星高校の新校舎が完成した。新校舎は旧校舎の裏側に当たる位置に玄関があり、かなり小さくなつた。同窓会室もなくなり、資料等を保管するスペースも無い。教室数も少なくスクーリングに併せて役員会を開くには場所の確保にも困難だろう。これも大学代々木校舎が完成すれば、改善されるかもしれないが不安だ。

私が最初に長崎の高校に進学した昭和39年の高校進学率は55%位だった。この頃中学卒業で地方から東京に集団就職してくる中学生達を「金の卵」と呼び、その後の日本の高度経済成長を支える原動力となつた。勉強したくても経済的なものを含め、できない時代であった。井沢八郎の歌「ああ上野駅」を聞くと昔を思い出すためか、今でも胸がジンとなる。そのような背景がある中、当時の東海大学で授業を聞ける高校を昭和34年

スクリーリングは東海大学代々木校舎行い、電波塔のある中庭において生徒会主催の朝礼で、ラジオ体操から建学の歌・校歌、そして当時の生徒手帳にも記載されていて、生徒が作ったと伝わる生徒会の歌を毎回齊唱した。生徒会の歌の一節だが「望みはてなく星高く手をして頂いたが、あの分厚く暖かい手の感触を忘れない。

そして実際に動いて学校設立に大きく貢献され、最後は名譽校長として望星同窓会に大きな影響力を頂いたのが内木文英先生だつた。内木先生を語ると紙面が足りないので今回は割愛する。

私が望星に入学した昭和48年の学校は生徒年齢層も高く、未成年者は極少数だつた。そのため色々な事も自由で、生徒自身が責任を持って行動し、スクーリングを楽しみにして、勉強する事も楽しんでいた。当時は卒業まで4年間を要したが、先生も生徒も熱く、課外授業でのテニスやスキー等、楽しい時間があつという間に過ぎた。

スクリーリングは東海大学代々木校舎行い、電波塔のある中庭において生徒会主催の朝礼で、ラジオ体操から建学の歌・校歌、そして当時の生徒手帳にも記載されていて、生徒が作ったと伝わる生徒会の歌を毎回齊唱した。生徒会の歌の一節だが「望みはてなく星高く手をして頂いたが、あの分厚く暖かい手の感触を忘れない。

星おゝ我が母校我が命」この3曲を齊唱するのは伝統となり、同窓会懇親会では先生生徒と皆で肩組みかわし歌うのが一時は慣例となつた。



松前重義総長は昭和55年位までの卒業式には毎回出席された。私も総長賞を授与された折に握手をして頂いたが、あの分厚く暖かい手の感触を忘れない。

そして実際に動いて学校設立に大きく貢献され、最後は名譽校長として望星同窓会に大きな影響力を頂いたのが内木文英先生だつた。内木先生を語ると紙面が足りないので今回は割愛する。

星おゝ我が母校我が命」と肩組みかわし歌うのが一時は慣例となつた。

星おゝ我が母校我が命と肩組みかわし歌う、新しき仲間の出現を心から願う。

星バカが多く存在しているからだ。同窓会は皆様の勉強や活動しやすく快適な学園生活がおくれる環境を作るお手伝いも行う。「微力だが無力ではない」「できる事をやる」これがモットーだ。

東海大学付属望星高等学校同窓会 会長 金谷 義孝



新校舎での教育活動がはじまりました

校長 吾妻 俊治

新型コロナウイルスの感染への不安が社会全般に大きな影響をもたらして2年の年月が過ぎました。この間、同窓生の皆様の生活も大きく変化して、ご苦労の絶えないことと推察いたします。このような社会情勢の中、全国の教育機関も大きな影響を受けております。

望星高校は、同窓会の皆様にもご参加頂いている建学祭など、従来通りとはいえない行事もありますが、「高校通信教育講座」を柱とする通信制高校としての教育システムの特色を生かし、ほとんどの活動は、大きく変更することなく実施することができます。このことは全国的にも稀なケースではないかと思いますが、今後も生徒の健康・安全を第一に教育活動を可能な限り通常通り展開して行きたいと考えています。

2019年4月より旧校舎を解体し、2021年1月に新校舎が完成、4月より新しい校舎での教育活動を開始しました。これまでの旧校舎は、東海大学代々木校舎5号館の一部を望星高

校として使用していたわけですが、2021年度からは旧校舎の跡地に、望星高校の校舎と、大学（法人）の校舎を2棟別々に建設しましたので、名実ともに望星高校としての校舎となりました。

新校舎は、地上2階、地下1階建ての建物です。1階は職員室・事務室・保健室・生徒ホール、2階は普通教室3教室に校長室・応接室、地下1階は普通教室1教室に、理科実験室・家庭科実習室を配置しています。さらには屋上庭園、また校舎と隣接した別棟「憩いの広場」には、図書室・オープンルーム・カウンセリングルーム・編集室・会議室等を配置しています。また、旧校舎と比べ普通教室が少ないため、これまで日曜日と水曜日に開講していたスクーリングを行なった。各教室・実習室は多様な用途ができるように様々な工夫が施されています。

新校舎においては、最新のICT教育

環境を整備しています。すべての教室に電子黒板を配置し、生徒が各自所有している端末を使用しての教育が可能となりました。レポートの電子化も開始され、これらのICT環境の利用を通じた、生徒と教員間の双方向の教育により、生徒の思考力・判断力・表現力を育むこと

を目指すなど、新たな時代への変革に応えられる、教育の質の向上を目指してまいりたいと思います。

同窓生の皆様には、是非一度学校にお立ち寄り頂き母校の様子をご覧いただければと存じます。

これまでと変わらず、母校への更なるご支援・ご理解を頂きますようお願い申しあげます。



外観北西面



生徒ホール



外観南西面



教室



職員室

私の眼の事

一期生 清水 庄司



私は七五年九月に、夏休みの代休と有給を利用して、職業訓練所（現職業訓練校）の恩師を訪ね沖縄へ。往復の航空券のみで、行き当たりばつたりの旅行をしてきました。

目的は沖縄海洋博です。会場で、写真を撮るべくファインダーを覗いたら、左眼はスリガラスの世界だった。

当時は、フィルムカメラの時代で、ほとんどのカメラは、ファインダーを覗いて、構図ピント合わせをした。

今更ジタバタしても始まらないのでそのまま旅を続け、西表島迄行つて來た。

帰宅後、勤務先の近くの眼科で診て頂いたところ白内障と診断された。しばらく様子見しましょうと言われた。手術を勧められると、予想していたのに。手術すべく病院へ行き、手術を受けた。その時、私は三十二歳だった。

そして、九一年七月に右眼を手術した。手術により水晶体を失った私は、コンタクトレンズを装着している。

定年一年前の〇二年五月。仕事中に左

眼が飛蚊症というには、凄まじいカラスの大群が乱舞している様な現象に見舞われた。電話帳で、内科と眼科のみの病院を探し出して、以来二十年近く通つてゐる。

ある時、代診のベテランの医師から、角膜の内皮細胞が減少して、移植をする様になる可能性を示唆された。どれを機に、コンタクトレンズは三年ごとに交換する事にして、移植の話は出てこない。

私の推察に、酸素透過性のレンズとは言え長期の使用に困り目詰まりしたのかと思う。それきり、角膜の話は出てこない。

そして、二年の一月の通院時、緑内障の疑いがあると指摘され、昨年四月と十二月の2回に渡り緑内障の検査をうけ、年明け早々の説明では問題点はなかつたとの事です。

緑内障は眼圧の上昇により、視神経が圧迫され視野がかける疾病で、治療しても欠けた視野は戻らず進行を抑えるだけの効果しか無い。現在眼圧が正常のまま緑内障にな全く気付かず放置している例が多いとの事です。

私は、年に二回診察を受け、何とか視力を維持しています。

古い先の短い私は、世間の皆さまに迷惑をかけずに人生を閉じたいと思つています。

私の「これから」の課題

大谷あづさ

幼いころ母におんぶをしてもらうのが好きだった。その背中はあたたかく心地が良かつた。母は、私を背負いながらいくつもの家事をこなしていたことを今でよく覚えている。そのころ、母がいなくなってしまったらどうなるのであろうと考えたこともあった。きっと生きていけないと思っていた。今の母はあくまでも元気だ。母は、いつまでも元気でいてほしい。

人はだれしも歳をとる。この世に生を受けたから一つずつ歳を重ねていく。生まればかりの赤ちゃんは一人では生きてはいけない。また、歳をとつても人では生きてはいけない。どちらも誰かの手を借りなければならぬ。人は「成長」という過程をへて「衰え」と変わつていく。成長とは、育つて大きくなること。大人になることを意味する。衰えとは体力・若さ・美しさなどが盛りを過ぎていくことをいう。

最近改めて高齢化社会について考えるようにになった。子育ても先が見えるようになり、ようやく自分の時間が持てるようになってきた。挑戦できなかつたことにチャレンジしたり、旅行へも行けるようになった。

そのような中、介護という役割が回ってきたのだ。これもまた子育て同じく初めてのことばかり。親がどんどん理解しえないものに変わつて、まるで幼い子供のように甘えたり、おこつたりする。親の老いは切なく感じてしまふ。



第五十九回 望星同窓会のご案内

編
集
後
記

皆様お元気ですか？

新型コロナがこんなに長引くとは思いもよらず、回の会報は原稿が集まらず、通常のようないくつもの発行がせず、HP版として発行します。

ようによろしくお願いします。このようにコロナが長引くとは思いもよらず、いろいろなところに影響が出ています。今回の会報は原稿が集まらず、通常のようないくつもの発行がせず、HP版として発行します。

懇親会を開いていたYカフェは営業して無く、又、祝年で使用していた霞ヶ関の校友会館も閉鎖されて利用できません。今回は懇親会を行わ

ず総会だけを開催し、今後は新しい場所を探してみます。

オンラインを含め総会を開催する予定です。

同窓会総会並びに懇親会の会場の件ですが、総会は学校の教室を貸していただくとして、懇親会場は大学のYカフェも営業休止中ですし、校友会館も無くなっています。何か良いお知恵がありましたらご一報ください。

詳細は同窓会ホームページに五月頃掲載いたしますので宜しくお願いいたします。

記

コロナのおかげで会議のやり方も、巷ではオンライン会議が増えていますが、当役員会ではZOOMやLINEをこなせる方が少なく、いまだ使い切つておりません。

今後の同窓会の運営のしかたも大きく変わるものでしょう。今を大きな変革期ととらえて、役員編成や方向性も今にあつた同窓会のあり方を定めていきたいと思います。お願いいたします。

日 時 令和4年6月12日(日)
午後2時より総会

場 所 総会 望星高校新校舎